



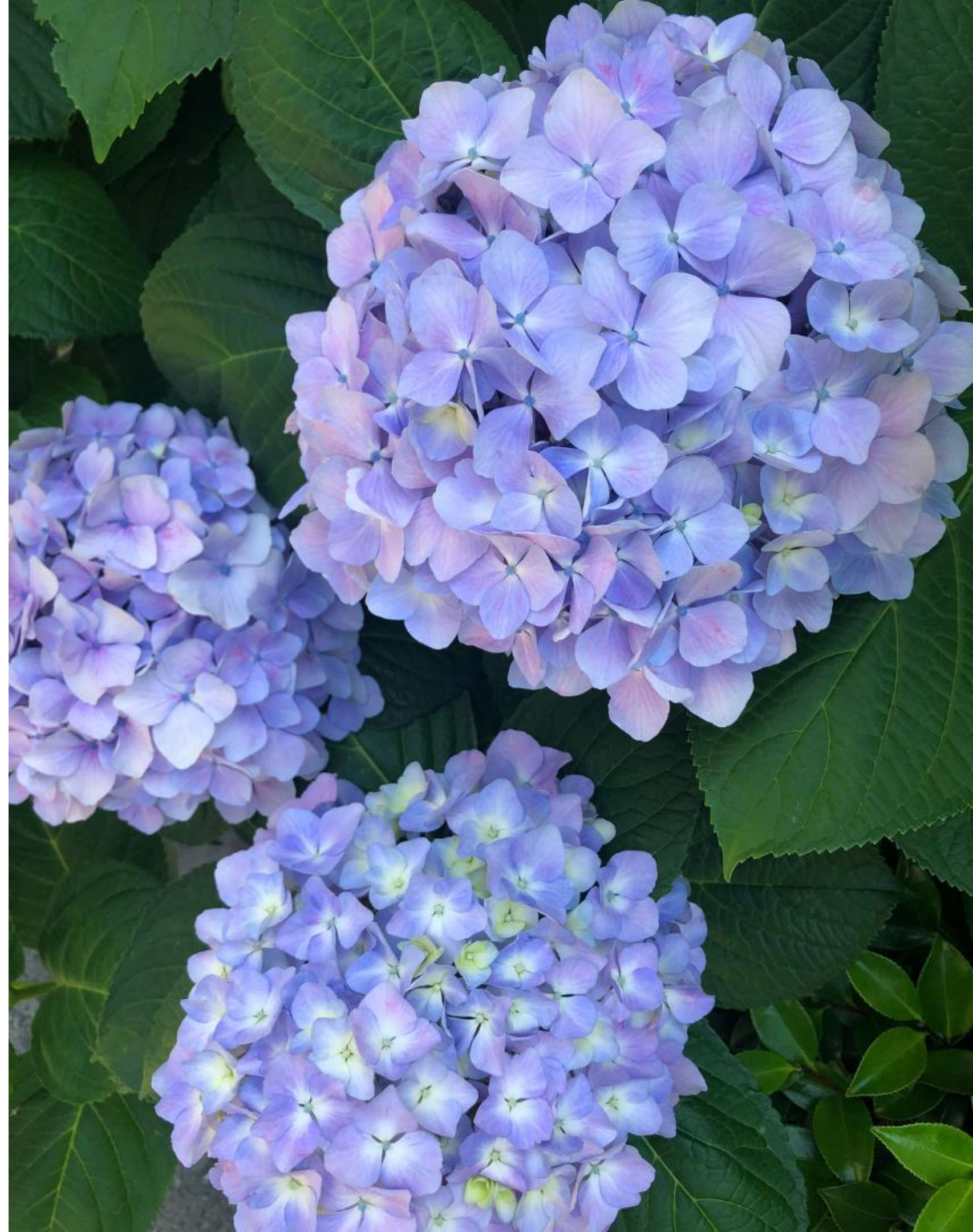
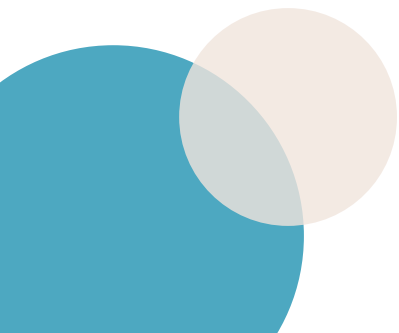
株式会社アクシス会社説明資料

A decorative graphic consisting of two overlapping circles, one teal and one light orange, positioned in the lower right area of the slide.

デジタルで社会に貢献する

INDEX

- 01 会社紹介
- 02 事業紹介
- 03 成長戦略
- 04 社会貢献、その他
- 05 決算情報・通期見通し
- 06 株主還元・配当方針



01

会社紹介

企業情報

社名	株式会社アクシス（Axis Co., Ltd.）
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場（4012）
代表者	代表取締役 会長執行役員CSO 小倉 博文 代表取締役 社長執行役員CEO 横田 佳和
設立	1991年6月
所在地	東京都港区西新橋2-3-1 マークライト虎ノ門 8F
資本金	7,440万円（2025年12月末）
従業員数	545名（2025年12月末現在）
事業内容	システムサービス事業 ITサービス事業

全国に4支店、グループ企業1社

〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-10
九勤末広通りビル 6F
Tel. 092-434-4120（代）
Fax. 092-434-4787

福岡支店

〒980-6022
宮城県仙台市青葉区中央4-6-1
SS30 22F
Tel. 022-281-9302（代）
Fax. 022-281-9303

仙台支店

〒105-0003
東京都港区西新橋1-22-10
西新橋アネックスビル 5F・6F
Tel. 03-6206-7901（代）
Fax. 03-6206-7902

虎ノ門DC

〒550-0002
大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9-11
アイ・プラス江戸堀 4F
Tel. 06-6147-6072（代）
Fax. 06-6147-6073

大阪支店

〒901-2134
沖縄県浦添市港川512-55
ゆがふBizタワー浦添港川 2F
Tel. 098-870-0981（代）
Fax. 098-870-0982

沖縄支店

39 Simei Street 4 #04-16 The Modena,
Singapore 529871
Tel. +65-9675-1978

シンガポール

各種資格

プライバシーマーク認定
ISO 27001登録事業者
ISO 9001登録事業者
労働者派遣事業 許可番号（派 13-040363）
DX認定
健康経営優良法人2026
健康優良企業 銀の認定
くるみん認定

各種認証
マーク



健康優良企業



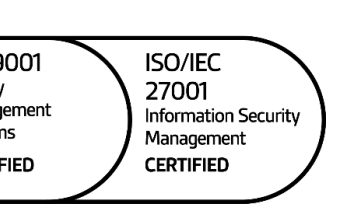
2022年認定
くるみん
を支援しています



17001300(07)



ISO 9001
Quality
Management
Systems
CERTIFIED



ISO/IEC
27001
Information Security
Management
CERTIFIED



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



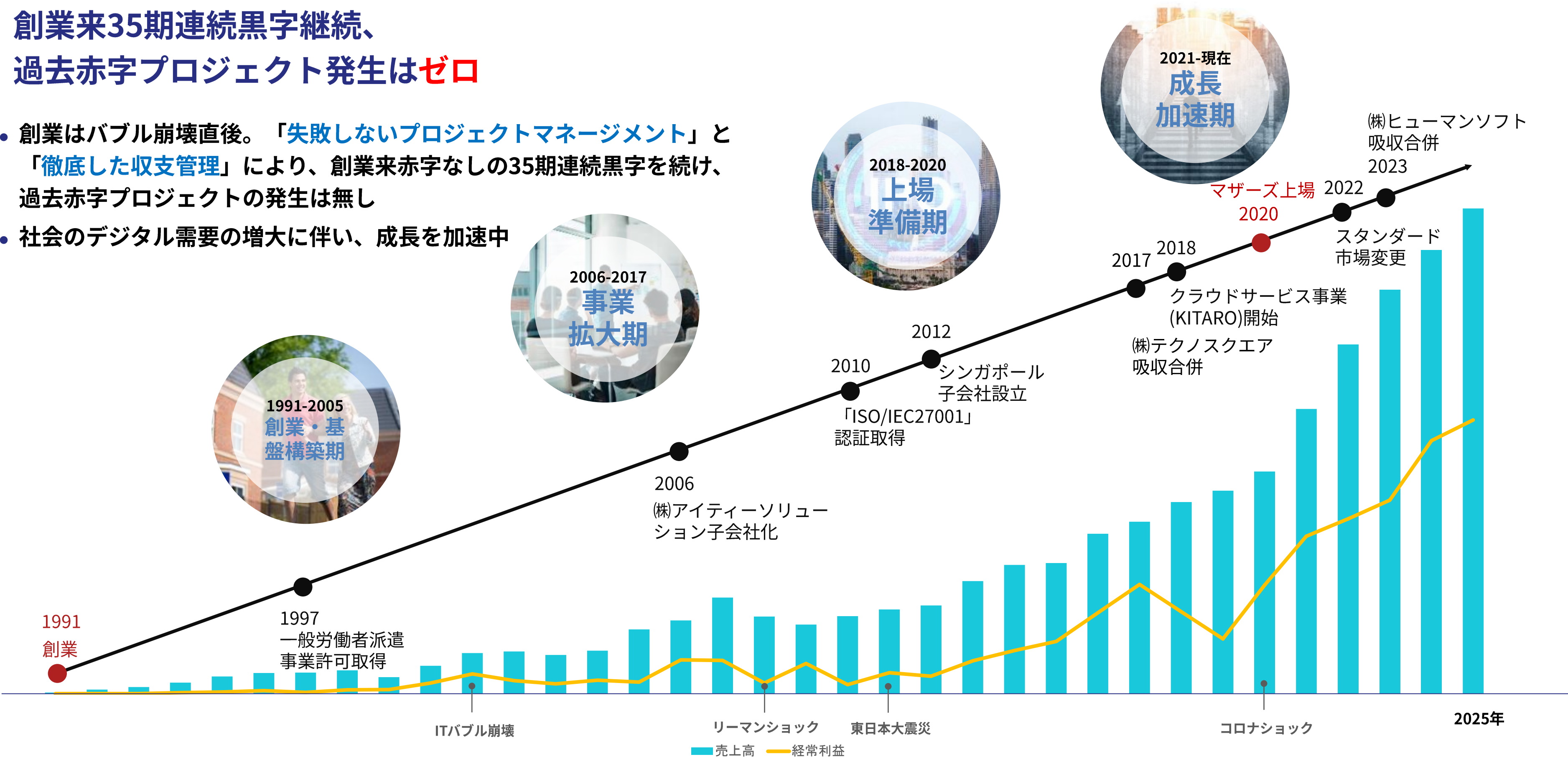
DX認定

© Axis Co., Ltd.

4

創業来35期連続黒字継続、 過去赤字プロジェクト発生はゼロ

- 創業はバブル崩壊直後。「失敗しないプロジェクトマネジメント」と「徹底した収支管理」により、創業来赤字なしの35期連続黒字を続け、過去赤字プロジェクトの発生は無し
- 社会のデジタル需要の増大に伴い、成長を加速中



02

事業紹介

「システムサービス(SS)事業」と「ITサービス事業」の2事業で構成

売上高構成比
(2025/12期)

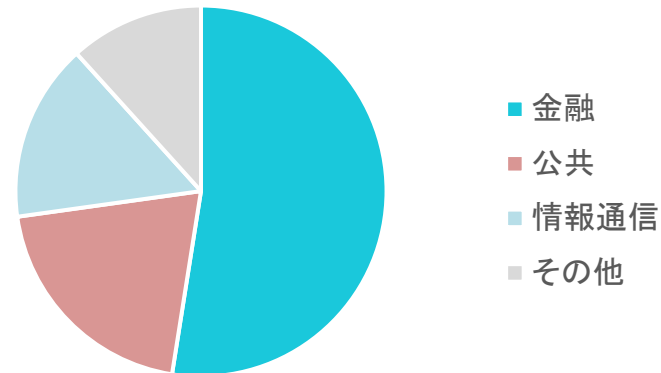
94.6%

SS事業

ITサービス事業 5.4%

金融機関、公共、情報通信向けシステム開発で9割を占める

事業ポートフォリオ



2025/12期

売上高

81.3億円

IoTを活用したサブスクビジネス
DXコンサルティングを展開

クラウドサービス(CS)

サブスクリプションモデル・ストックビジネス

・リアルタイム運行管理システム(KITARO)

・安否確認サービス

・ルートラベル



安否確認サービス

デジタルコンサルティングサービス(DS)

中小企業のDX化支援サービス

・中小企業向けコンサルティング(まるっとアクシス)

・情報システム運用代行サービス(ITサポート)

システムインテグレーション(SI)

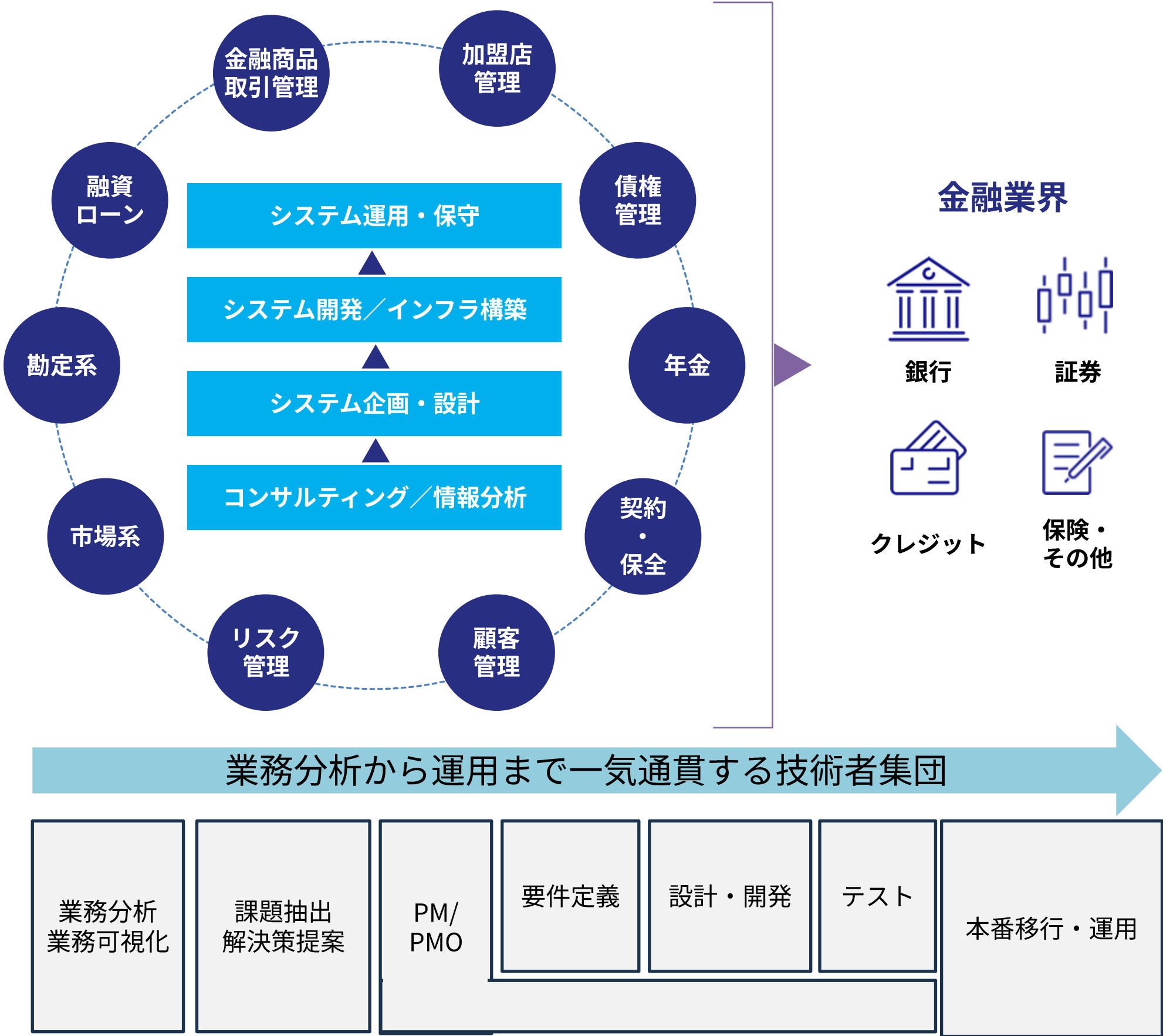
アプリケーション開発、コンサルティング、
システム運用・保守

クラウドインテグレーション(CI)

パブリッククラウドサービスの導入、クラ
ウド化移行支援、モダナイゼーション、
ネットワークデザイン

金融業界のシステムインテグレーションをトータルサポート

- SS事業において、金融分野は売上の約5割を占める主力分野。他業種からの参入など、今後も需要は堅調で取引単価高
- アプリケーション、インフラ領域における業務分析・設計・開発・テストから運用・保守に至るまで、金融各業態の顧客ニーズに合わせて様々なサービスをトータルに提供・サポート



顧客層

公共・社会インフラ

中央省庁
地方自治体

金融機関

市場系
キャッシュレス決済
情報系

情報通信

ネットワーク
モビリティサービス



業務領域

SES(システムエンジニアリングサービス)
受託開発

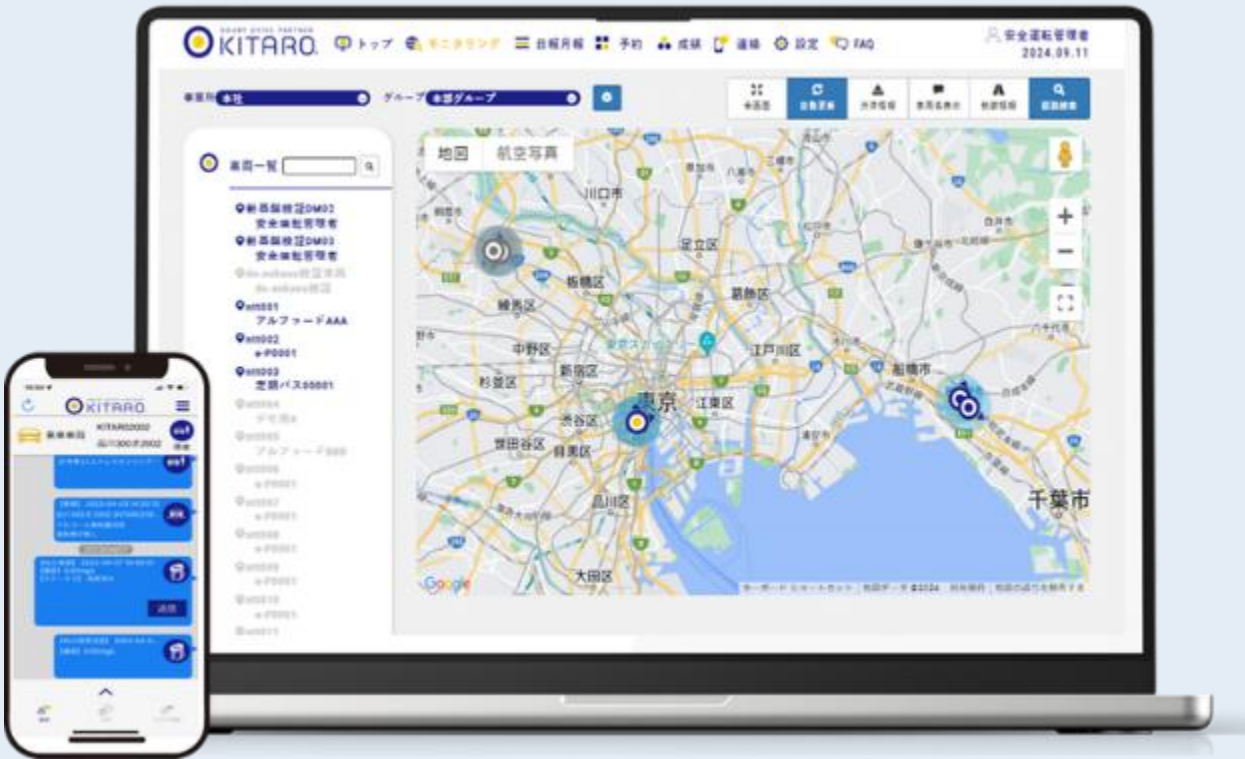
インフラ領域

クラウドインテグレーション(AWS、Azure)
自社サーバー構築

PM、PMO(プロジェクト管理)、要件定義～保守、運用

サブスクリプションモデルで提供する
車両動態管理サービス「KITARO」

車両に搭載した専用端末から得られる位置情報や走行データなどをリアルタイムで収集・分析し、運行状況の可視化、業務効率化、安全運転支援を実現



クラウド運行管理
AWS認定ソフトウェア

AWSファンデーションアルテクニカルレビュー認定
厳しいセキュリティ要件、信頼性、運用体制の審査を通過

ビジネスモデル

安定した継続収益を基盤に、顧客の事業を支え、長期的なパートナーシップを構築



開拓ターゲット層

運送業、建設業、卸売・小売業などの
営業や配送で多くの車両を保有する事業者



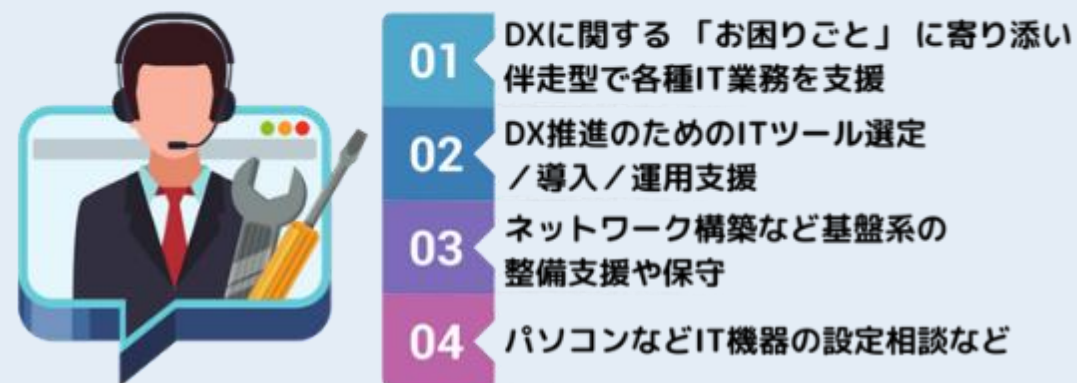
中小企業向けDX支援サービス

中小企業が抱えるIT人材不足やデジタル化の遅れといった課題解決に寄与するITサポートサービス
利用シーンにより2つのサービスを展開

まるっとアクシス

IT資産管理、機器選定、データバックアップ
などの設定支援や社内DX推進の導入相談

デジタルの110番



ITサポート

企業の要望に応じてサポート内容をカスタマイズできる
サービス、企業内IT部門のBPO（ビジネス・プロセス・
アウトソーシング）

デジタル化支援



「AIコミュニケーション・インサイト」は、RAG技術を活用し社内外の問い合わせ対応を高度化するAIサービス

中期経営計画「AI活用による事業の高度化」の3領域に沿って、社外2領域・社内1領域で価値を創出



① 顧客価値を高めるAI活用
(SI・DX支援)

社外 | SI・DX顧客への提供

- ✓ AIコミュニケーション・インサイトをSI／DX案件に組み込み、顧客の業務現場で活用
- ✓ 顧客の問い合わせ・ナレッジ業務を効率化し、開発・運用のDXを支援
- ✓ 業務理解に基づく活用提案で、顧客の業務効率化・高度化を実現

主な活用例

-  SI案件への組み込み提供
-  顧客ヘルプデスクの高度化
-  運用・問い合わせ対応の自動化



② AIを組み込みサービスを高度化する(外販)

社外 | 新規顧客への外販

- ✓ AIコミュニケーション・インサイト自体を新ソリューションとして新規顧客へ外販
- ✓ 製品・サービスに関する問い合わせ対応をAIで自動化・高度化
- ✓ 多言語対応・外部システム連携でグローバル拡販、業種横断で展開

主な外販先

-  観光・交通
-  医療・病院
-  公共・自治体
-  製造・サービス業



③ 生産性と品質を高めるAI活用(社内)

社内 | 自社業務での活用

- ✓ 社内規約・マニュアル・問合せ履歴を活用し、回答精度を向上
- ✓ 問い合わせ対応の標準化・属人化の解消・新人教育を支援
- ✓ トラブルシュート事例の蓄積・共有で再発防止と対応力を強化

主な活用シーン

-  社内問い合わせ対応
-  トラブルシュート支援
-  ナレッジ蓄積・共有

03

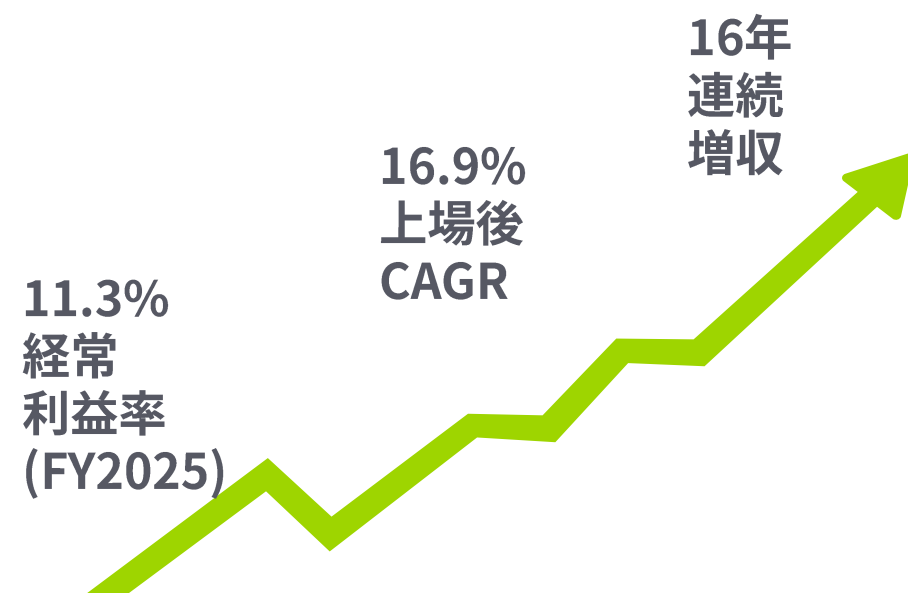
成長**戦**略

①高い成長性

創業以来、止まらない成長

創業34年CAGR
19.2%

売上高
(1991年) (2025年)
20千万円 → **81**億円



"創業以来、過去最高売上を27回更新"

"上場5年で売上2.2倍、経常利益2.5倍"

"2009年のリーマンショックによる落ち込み以降、16期連続増収を達成中"

②柔軟な経営

- 開発コスト削減を図るために、一早く海外生産拠点、国内地方拠点の活用を開始
- 事業拡大に向け意欲的にM&Aを推進
- 自由な発想を元に新しい事業への挑戦を図る



沖縄、福岡、仙台、大阪・シンガポール、上海^{*1}、インドネシア^{*2}、などの拠点を活用

^{*1} 2015年にクローズ
^{*2} 2019年にクローズ



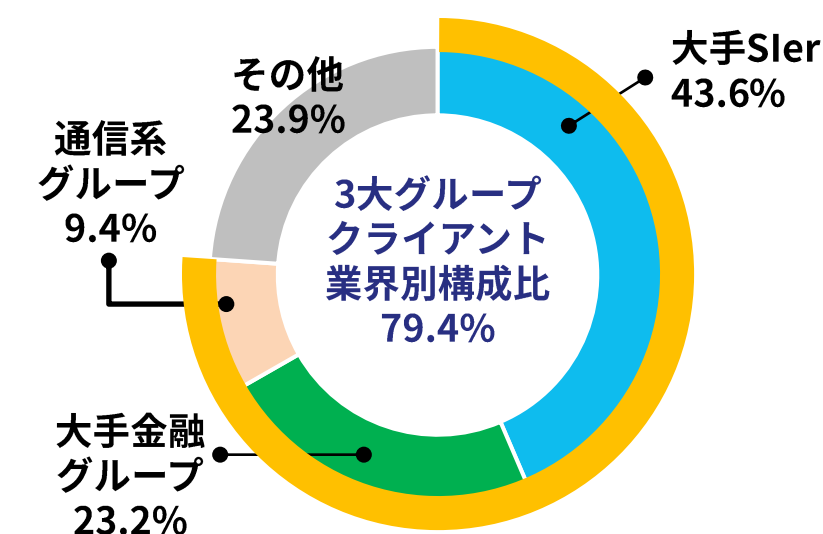
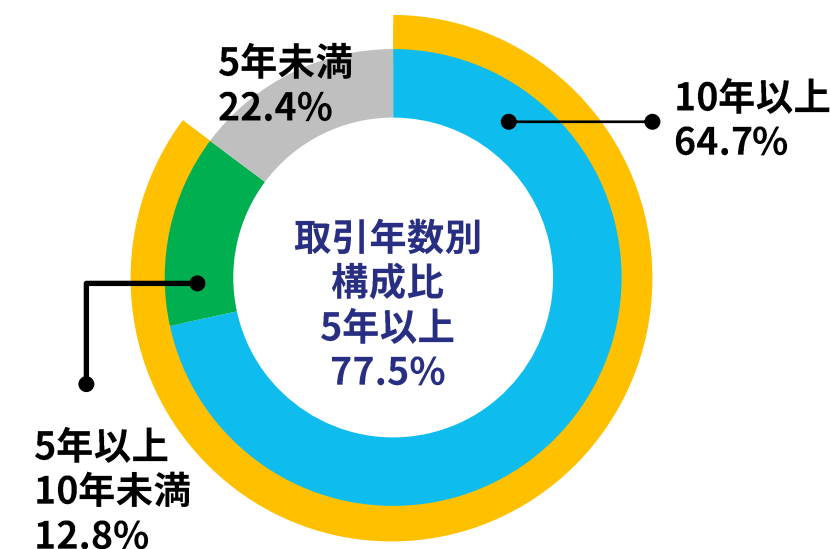
2014年 (株)テクノスクエアを子会社化
2017年 (株)ITソリューションから事業を譲り受け
2018年 (株)オークネットから
クラウドサービス事業を譲り受け
2021年 (株)ヒューマンソフトを子会社化



リアルタイム運行管理システム(KITARO)
中小企業向けDXコンサル(まるっとアクシス)
情報システム運用代行サービス(ITサポート)
安否確認システム

③経営の安定性

複数大手クライアントとの長期継続的取引
(2025/12期SS事業売上ベース)



中期経営方針

顧客価値向上



求められるニーズを満たす確かな
技術でサービスを提供する

企業価値向上



収益性の高い高付加価値サービスを
増やし、企業価値向上を目指す

社会的価値向上



社会課題の解決と社会への還元を通
じて、存在価値の高い企業となる

Go Beyond



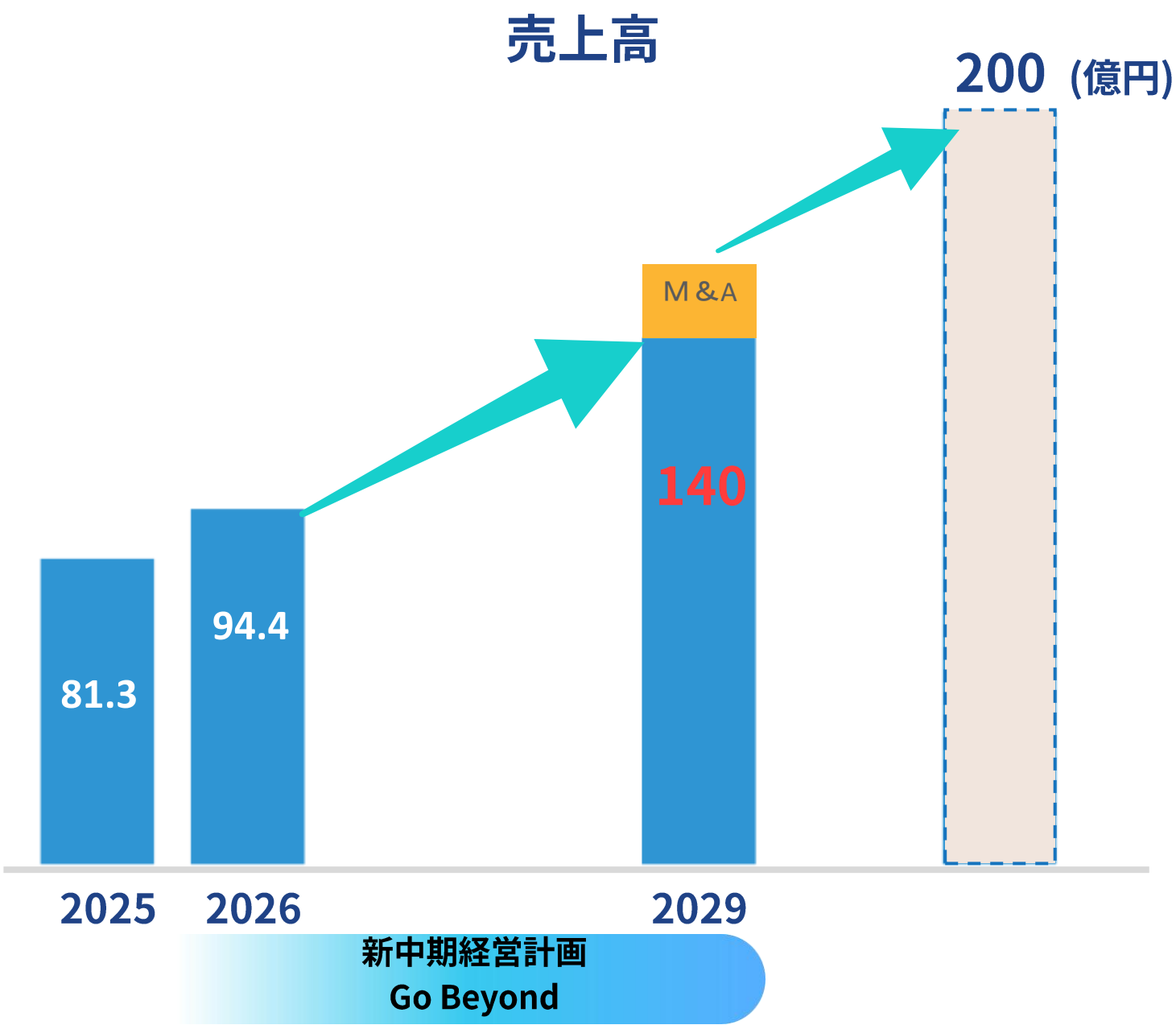
Axis

目指す姿

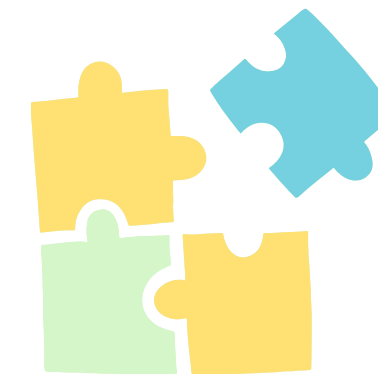
「価値共創パートナー」

売上高 **200億円** 企業に向け、プライム市場を意識した成長を継続

	2025年12月期	2026年12月期	2029年12月期
売上高	81.3億円	94.4億円	140億円以上
営業利益	8.8億円	10億円	16億円以上
営業利益率	10.9%	10.6%	12%以上
ROE	16.8%	16.1%	18%以上
配当性向 (累進配当導入)	30.5%	35.1%	40%以上



- 1
- SI主力産業の深耕と未開拓産業への展開
 - 成長性の高い技術領域やサービスの拡大
 - AI活用による事業の高度化



- 2
- 人材基盤の強化
 - 事業基盤の強化
 - 働き方改革



事業戦略

経営基盤強化

投資戦略

- 3
- M&A
 - 人材投資
 - サービス開発・設備投資



2029年12月期までの累計投資金額

財務方針

持続的な企業価値向上を実現する資金管理を行う

成長投資

- ・ M & A
- ・ 人材投資
- ・ サービス開発投資
- ・ 経営基盤強化

株主還元

- ・ 配当性向を40%以上
- ・ 累進配当
- ・ 成長に伴う増配を実行

M & Aの実行状況、財務健全性を勘案して借入を活用

借入

営業CF

2026年から2029年
まで累計70億円超
(※)

手元資金34億円
(2025年12月末時点)

成長投資
80億円超

株主還元（配当）
15億円超

運転資金

M & A
40億円超

- ・ 高付加価値ビジネス
- ・ 先端技術
- ・ 新サービス

人材投資
30億円超

- ・ 待遇の向上
- ・ 福利厚生の充実
- ・ 教育/研修
- ・ 新卒/キャリア採用

サービス開発・
設備投資
10億円超

- ・ 調査・研究の強化
- ・ 新規事業開発投資
- ・ 社内経営基盤DXの推進
- ・ 働きやすい環境の整備

(※)成長投資控除前の営業キャッシュ・イン・フロー

04

社会貢献、その他



2026年度 50名の新入社員入社

2026年4月1日、本社39名、地方拠点11名の合計50名の新入社員が入社しました。



当社では、新卒者の採用を毎年継続しており、来年度も50名程度の採用を計画しています。

従業員給与ベースアップを実施

当社は毎年4月に実施している定期給与改定に加え、従業員の月額基本給を一律1万円引き上げるベースアップを実施しました。

従業員給与のベースアップの概要

実施内容：月額基本給を一律**1万円**増額

昇給率：**5.1%**程度

(2026年定期給与改定分を含む当社総額)

実施時期：2026年4月給与より

世界的な資源高や為替の影響による生活必需品の物価上昇は、当社従業員の生活に影響を与えております。当社では従業員の生活を守り、より安心して働ける雇用環境の整備を急ぐとともに、従業員のモチベーション向上を通じて企業の競争力向上を図って参ります。

なお、本件は年度計画に織り込んでおり、業績予想への影響はございません。

スポーツを通じた社会貢献活動

2026年1月にスポーツひのまるキッズのイベントに協賛いたしました。柔道大会ではアクシス賞として大会を支えるボランティアスタッフの皆様にスポーツタオルを贈呈しております。



写真提供：一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

当社は、親子の絆を深めるスポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛しています。これからも当社は、子どもたちが明るく過ごせる社会のために活動をしていきます。

「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に 3年連続認定

当社は経済産業省と日本健康会議の推進する健康経営優良法人認定制度に認定されました。

健康経営優良法人認定制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



■健康経営優良法人認定制度(経産省)

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

■ポータルサイト（健康経営優良法人認定制度）

https://kenko-keiei.jp/houjin_list/

当社はこれからも、女性の活躍推進、育児・介護サポート、生活習慣病予防やメンタルヘルス対策、有給休暇取得率の向上や平均残業時間の削減などによるワーク・ライフ・バランスの向上などに取り組み、社員全員がいきいきと働くことができる会社づくりに取り組んでまいります。

05

決算情報・通期見通し

売上高

2,248 百万円

前年同期比

+15.7%

営業利益

338 百万円

前年同期比

+34.0%

営業利益率

15.1 %

前年同期比

+2.1p

通期業績予想に対する進捗率

売上高



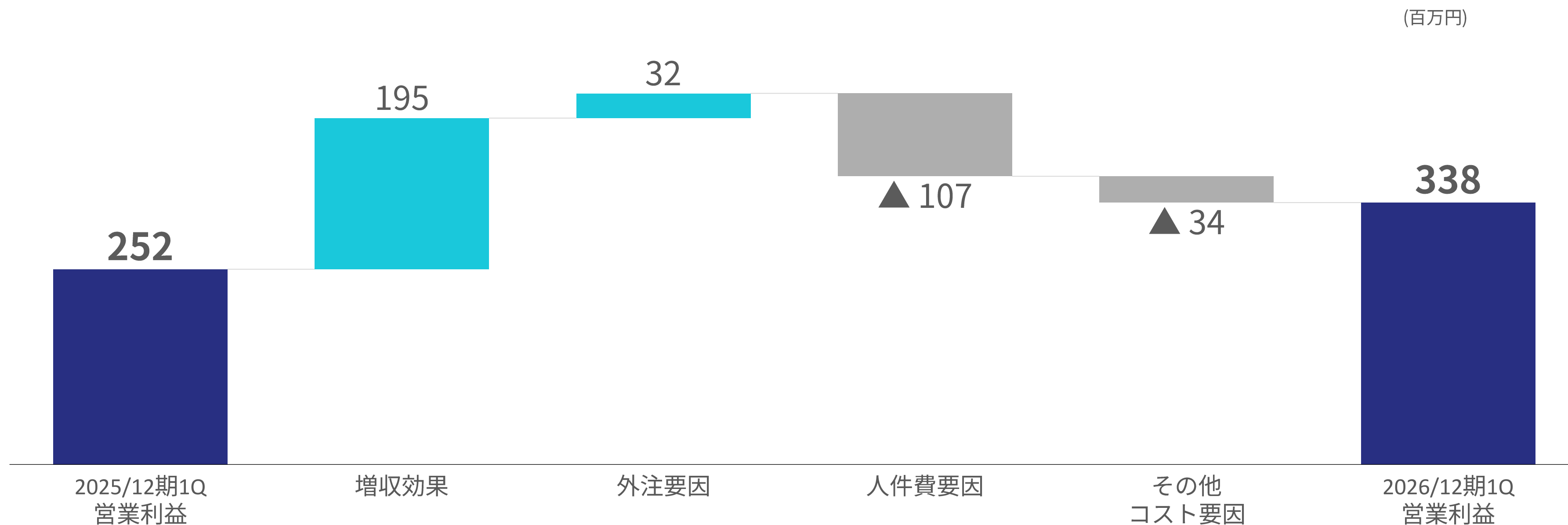
営業利益



ポイント

- 注力中の公共社会インフラ案件を着実に積み上げ、売上高は前年同期比**+15.7%**、営業利益も同**+34.0%**と好調、共に四半期ベースで過去最高を達成
- 営業利益率は**15.1%**と前年同期比**+2.1p**で過去最高、大型案件の獲得と収益性向上の両立が進む
- 通期業績予想に対する進捗率は好調に推移

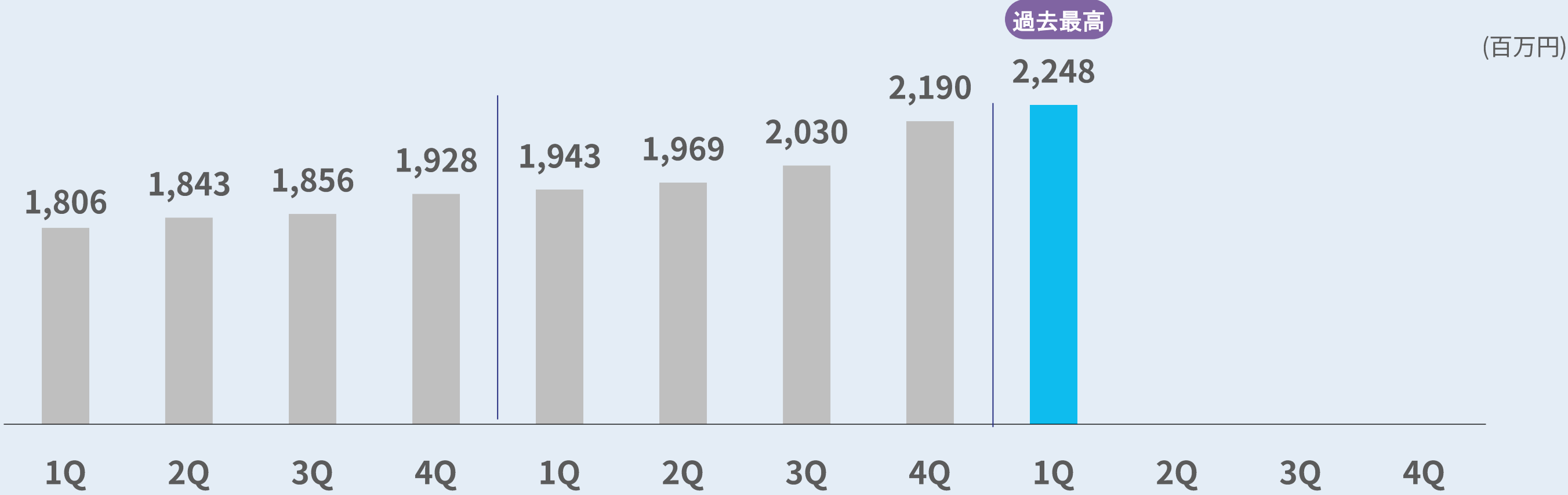
営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)



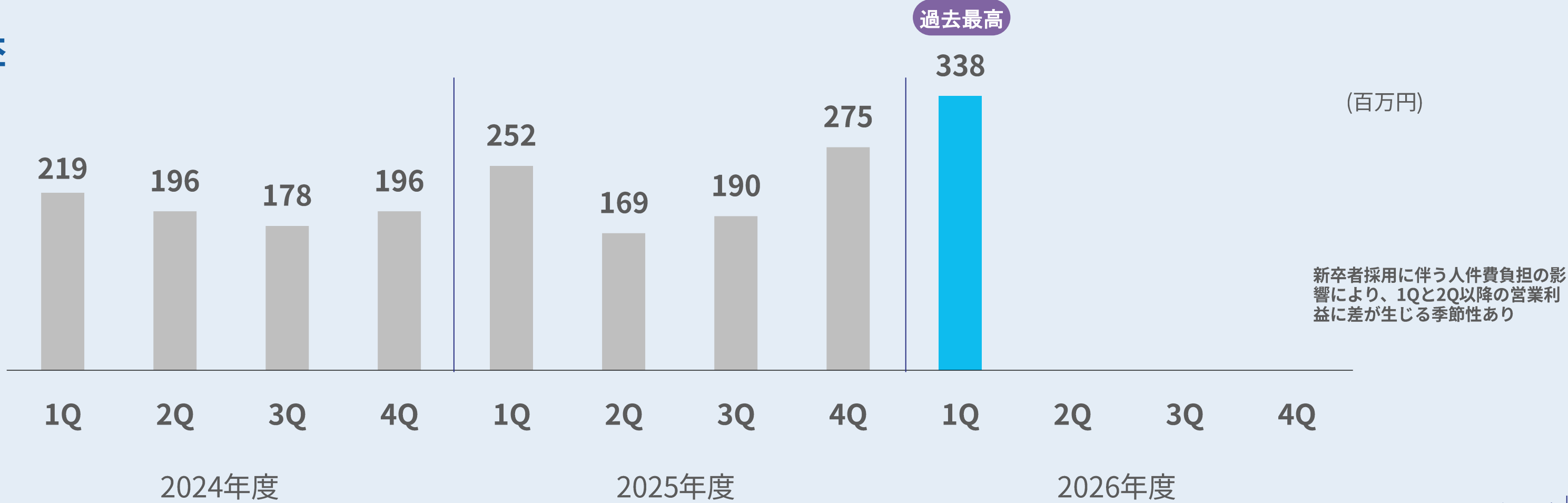
- 受注の増加と高付加価値領域の拡大により顧客単価が向上し、前年同期比+195百万円の増収効果
- パートナーの効率的な活用により外注要因は+32百万円
- エンジニアの増加により人件費要因は▲107百万円
- 増収効果および外注要因による増益が、人件費等のコスト増を吸収



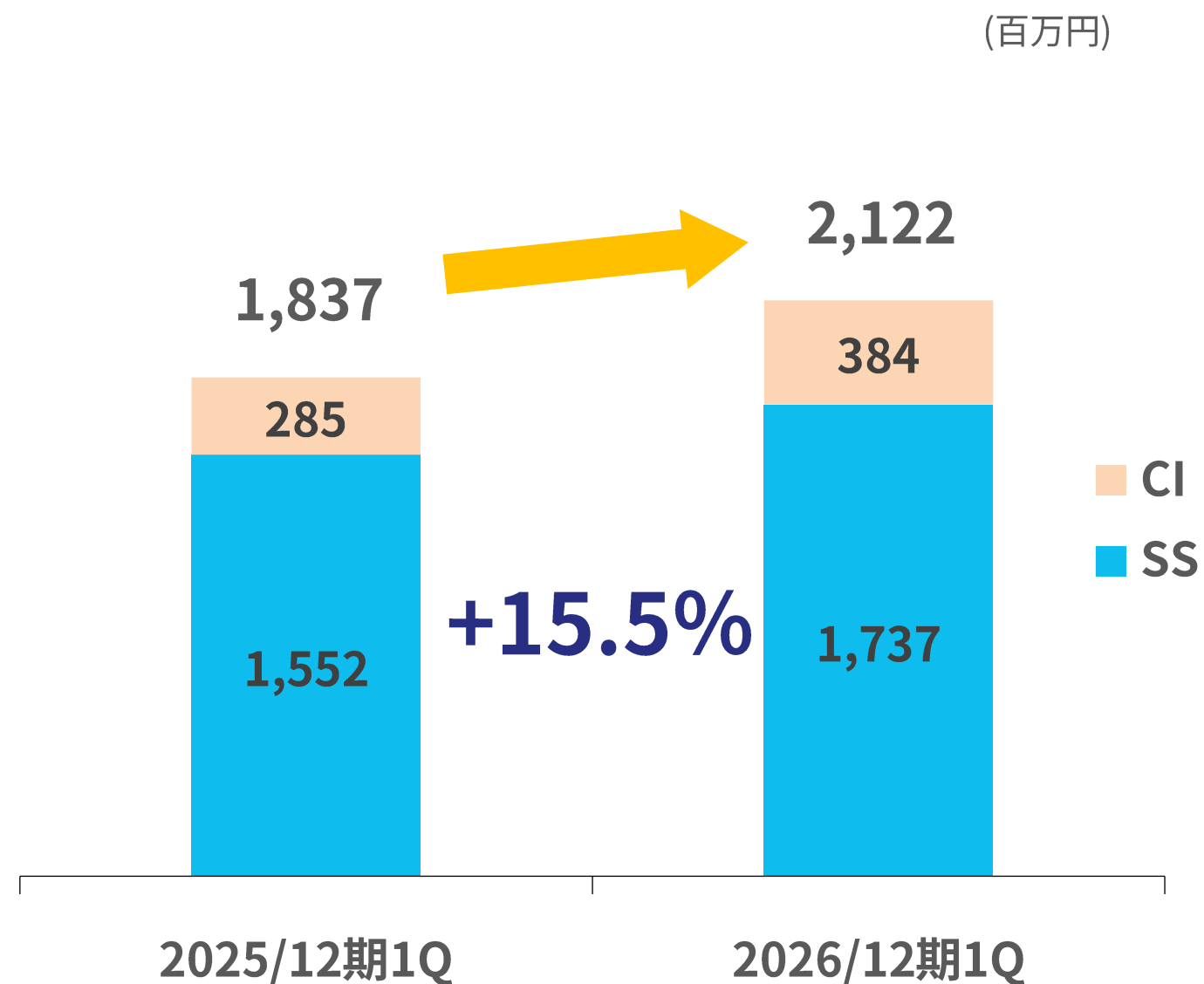
四半期売上高



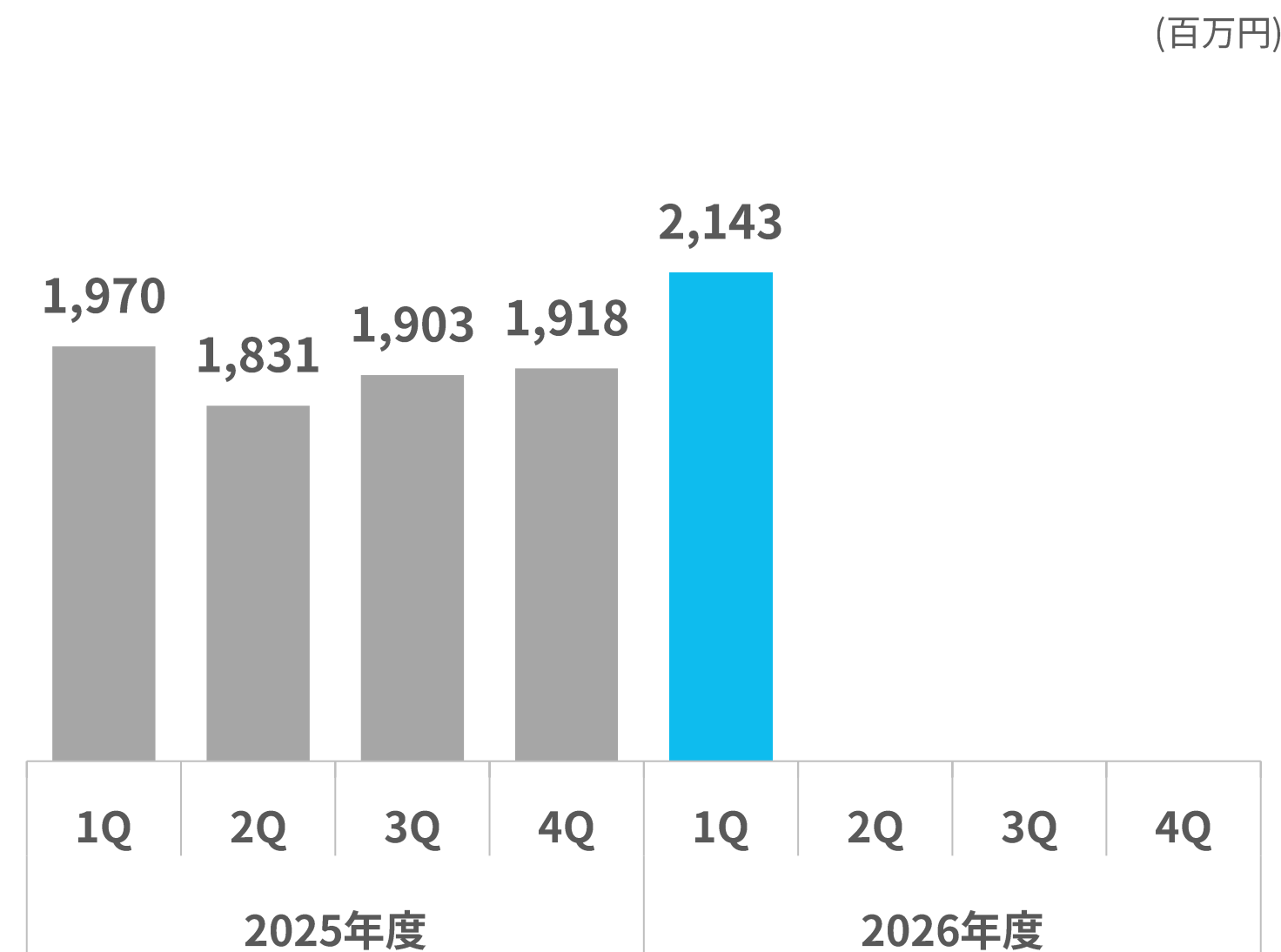
四半期営業利益



システムサービス事業 売上高

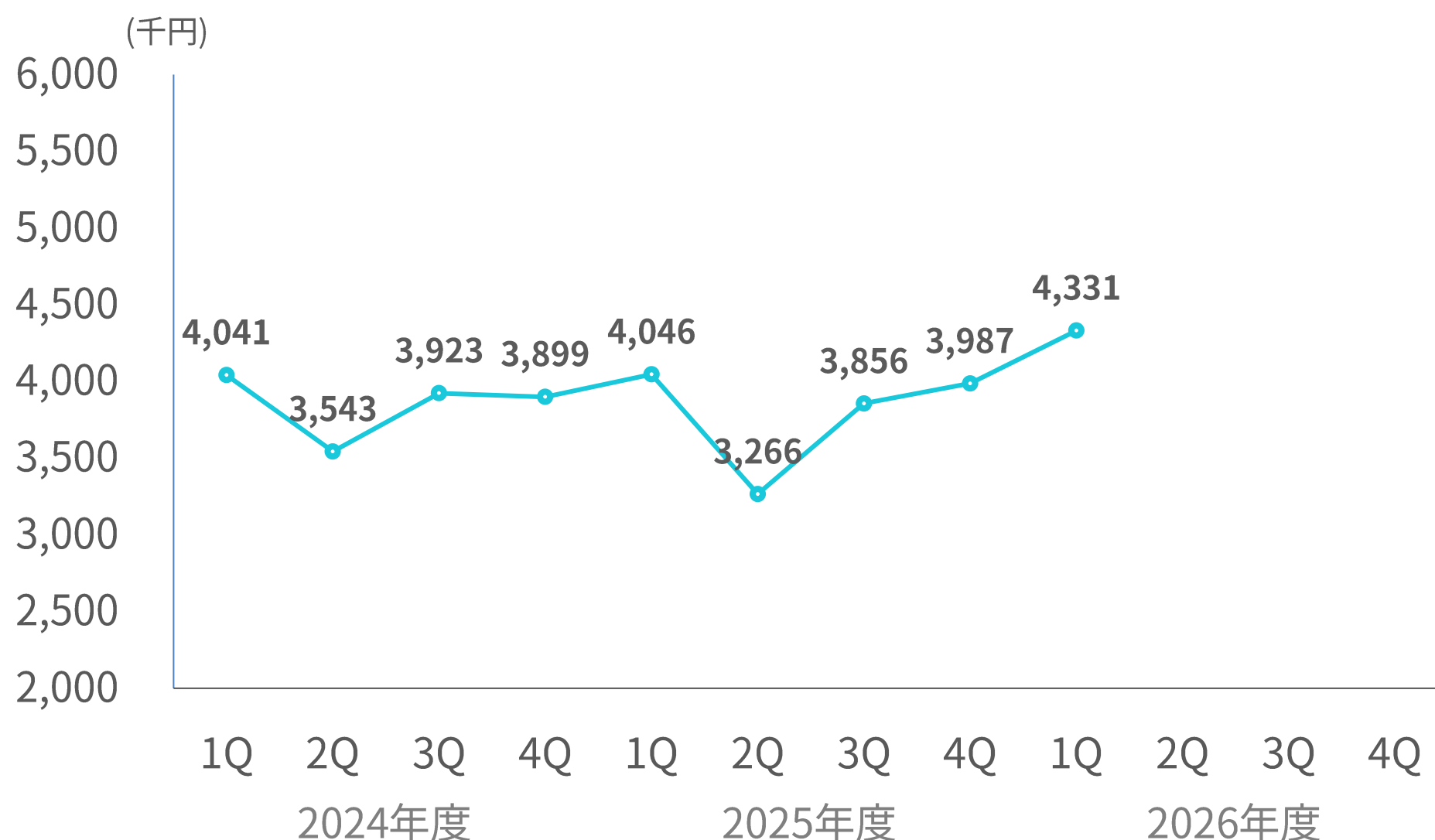


受注残高の四半期別推移

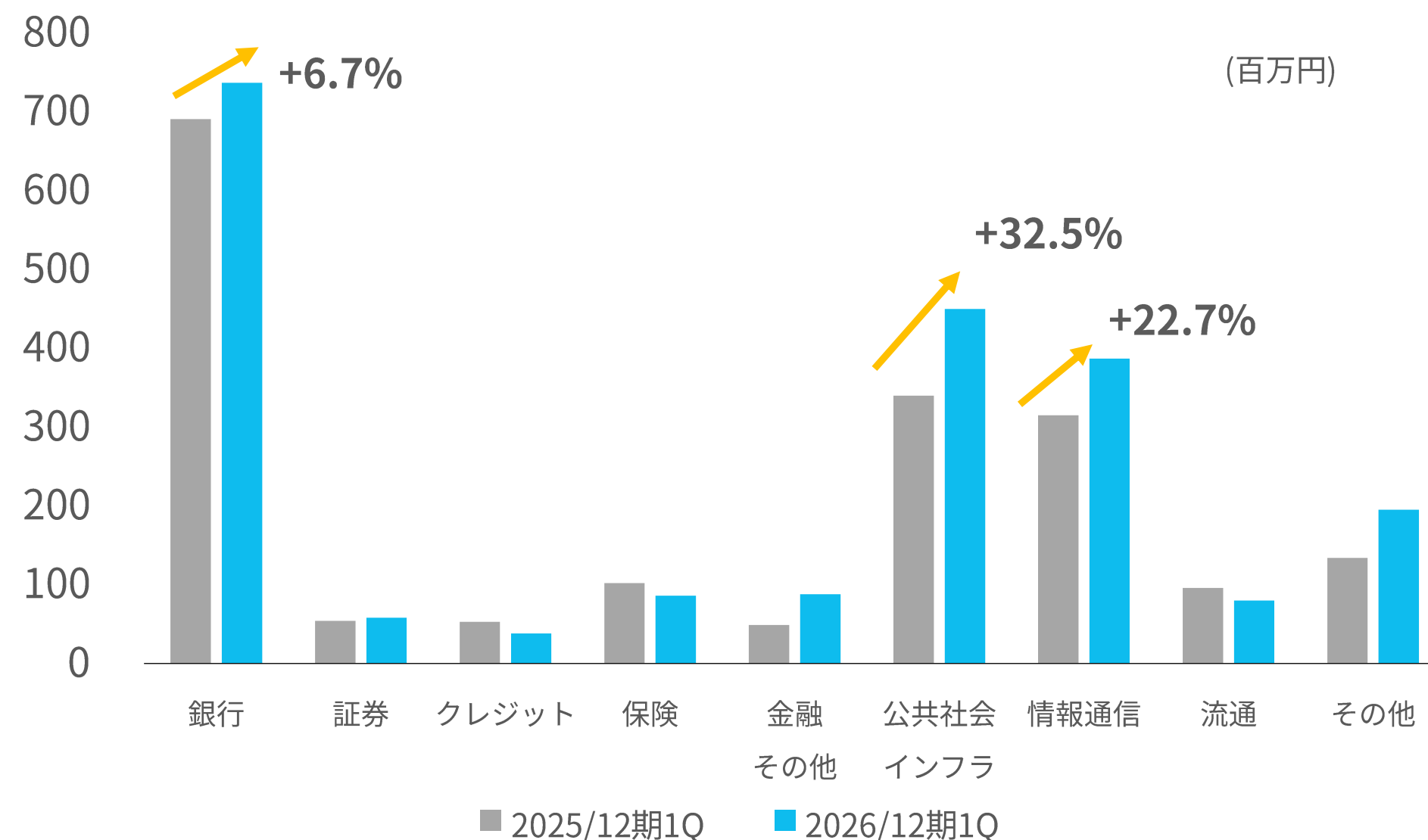


- 売上高は、銀行を中心とした金融に加え、公共社会インフラ・情報通信のシステム投資需要を着実に取り込み、前年同期比で+15.5%と順調に推移
- 新規契約及び既往契約を順調に獲得し、受注残高も過去最高を更新

従業員一人あたり売上高

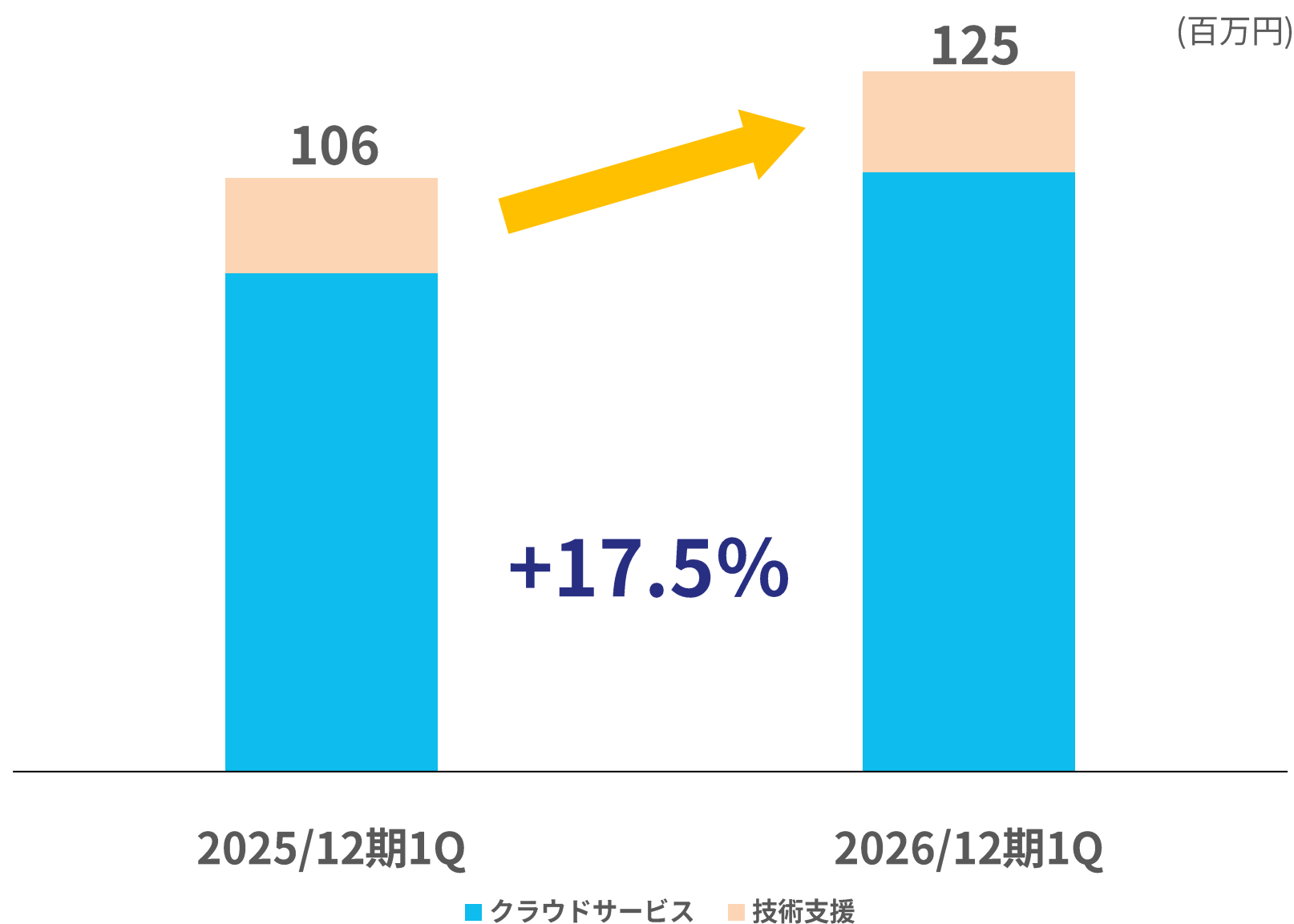


業種別売上高

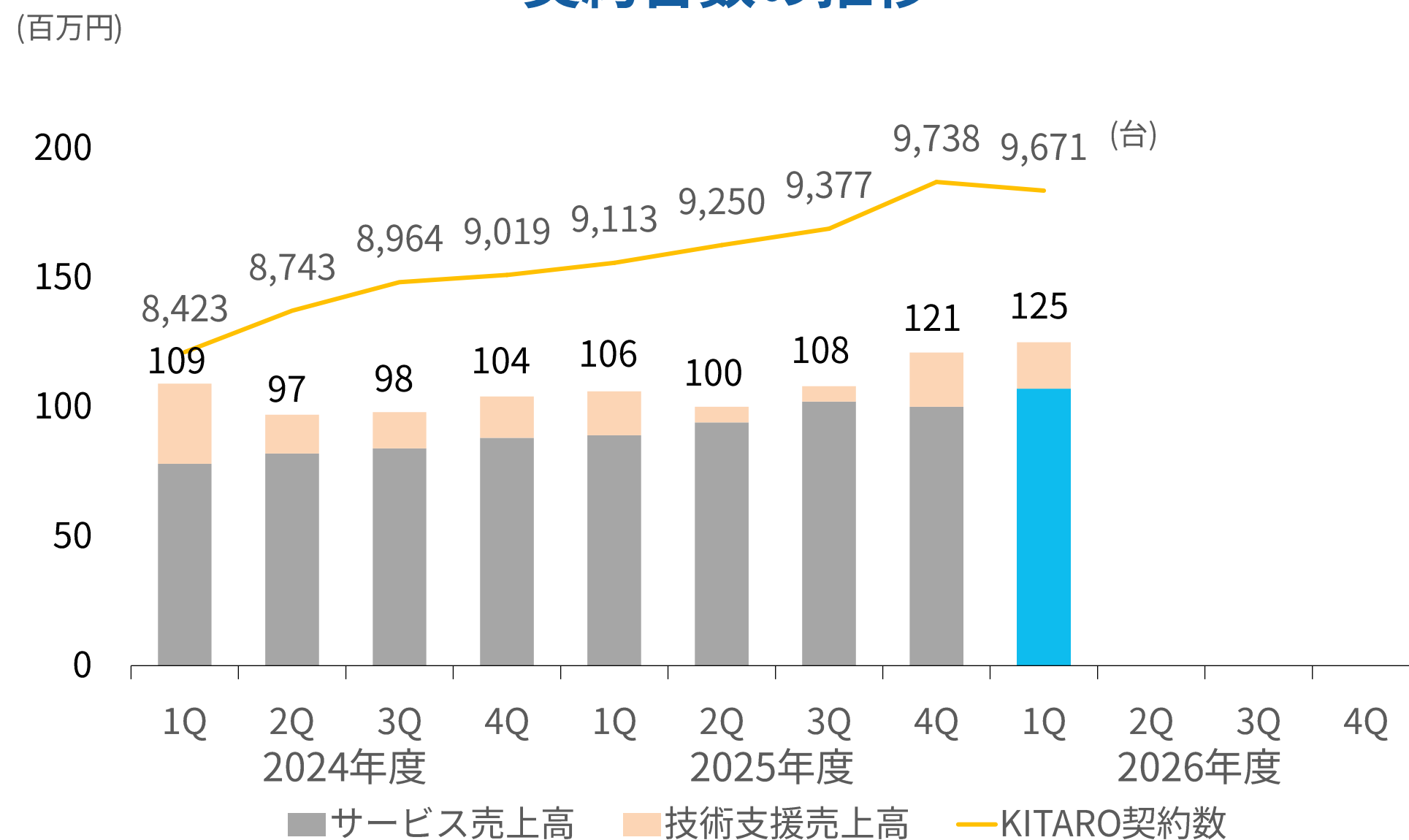


- 従業員一人当たり売上高は増収に伴い好調に増加し、過去最高
- 業種別売上高では、主力の銀行領域で前年同期比+6.7%と堅調に増加
- 注力分野の公共社会インフラと情報通信では、航空関連案件や官公庁に関わる案件の受注拡大により大幅に増加

ITサービス事業 売上高

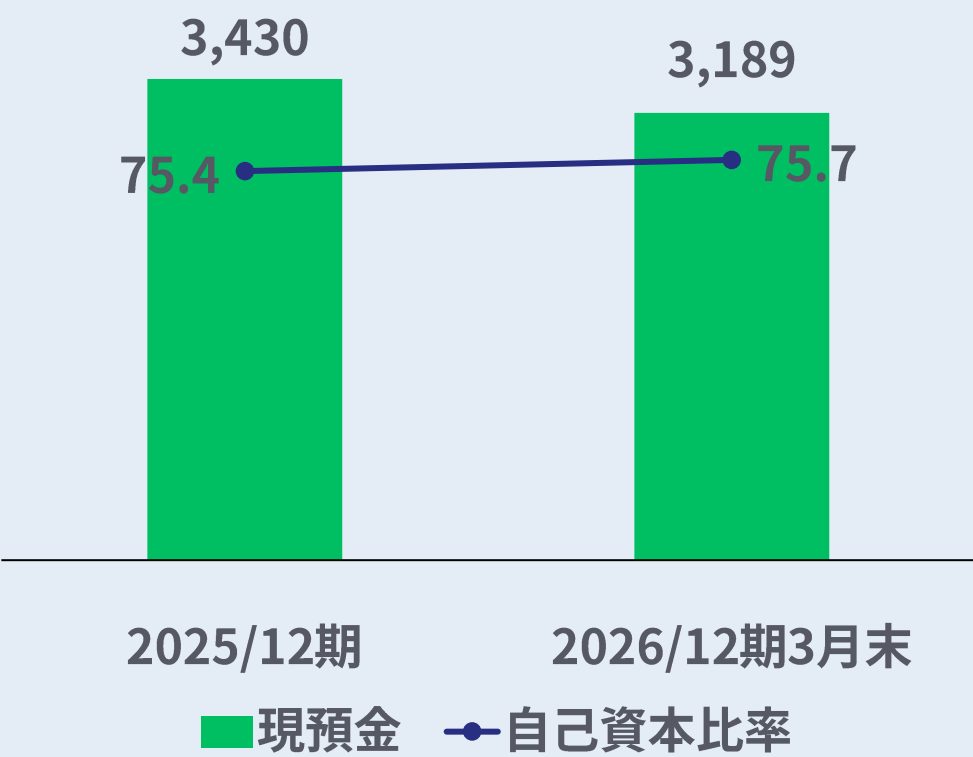


四半期別売上高と「KITARO」契約台数の推移



- 売上高は、クラウドサービス「KITARO」（以下、KITARO）の契約台数増加(前年同期末比500台超)や、他社サービス向け構築案件の受注に伴い+17.5%と好調
- KITAROは3G回線サービスの終了に伴い、解約が増加したため前期末比では台数減

主な財務数値の状況



- 好調な業績を反映して、引き続き良好な自己資本比率を維持
- 潤沢な現預金は、中期経営計画で重点施策としている人材投資、サービス開発、M&Aなど、企業価値向上のための成長投資に活用予定

主なBSの状況

(百万円)	2025/12期	2026/12期 3月末	前期比増減
流動資産	4,804	4,785	▲19
現預金	3,430	3,189	▲240
売掛金及び契約資産	1,258	1,470	+211
棚卸資産	32	25	▲6
固定資産	599	634	+35
のれん	155	148	▲7
総資産	5,404	5,419	+15
負債	1,327	1,318	▲9
買掛金	296	296	+0
有利子負債	—	—	—
退職給付引当金	342	346	+3
純資産	4,076	4,101	+25
負債純資産合計	5,404	5,419	+15
自己資本比率	75.4%	75.7%	+0.3p

売上高

9,444 百万円

前期比

+16.1%

営業利益

1,000 百万円

前期比

+12.6%

営業利益率

10.6 %

前期比

▲0.3p

配当（予想）

57 円

配当性向35.1%

+11円増配

業績

- ・ **16.1%**増収、**12.6%**営業増益と7期連続の増収・増益、過去最高更新を見込む
- ・ 高付加価値領域の拡大により収益性が高まる一方、将来の成長に向けた人材投資等の先行投資も継続して計画することから、営業利益率は2025年度と同水準の**10.6%**を見込む

配当

- ・ 配当は、1株当たり**11円**増配し**57円(配当性向35.1%)**を予想

06

株主還元・配当方針

事業成長を加速することで中長期的な株価 上昇と利益成長による増配を図って行く

長期安定配当を基本とし、株主の皆様へ還元をしていきたいと考えております。

過去の実績においても、継続して増配してきており、今後も安定配当の維持と利益成長による増配、成長投資をバランスさせていきます。

- ☒ 配当性向40%以上
- ☒ 累進配当（每期配当予想額から減配しない方針）
- ☒ 毎期の利益成長に応じて増配

一株当たり配当金予想イメージ

(単位/円)



1株当たり年間11円増配し57円に

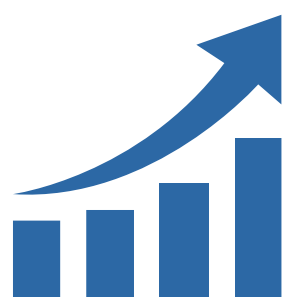
配当方針



長期安定配当を基本とし、一時的な業績の変動に左右されることなく、継続して利益還元を行うために**累進配当**を導入

継続して増配してきており、引き続き、安定配当の維持、利益成長による増配、成長投資とのバランスを図る方針

2026年12月期の予想



2026年12月期の配当性向は**35.1%**とし、1株当たり11円増配の**57円**を予想

